

研究課題名：上咽頭癌に対する同時併用化学放射線療法後に生じた甲状腺機能低下症に関する研究

1. 研究の対象

2011年4月～2019年3月に、東北大学病院、宮城県立がんセンターで、上咽頭癌に対して強度変調放射線治療（IMRT）を用いた同時併用化学放射線療法を受けられた方

2. 研究目的・方法

上咽頭癌に対する根治的治療として、同時併用化学放射線療法が広く行われている。上咽頭癌は潜在的リンパ節転移のリスクが高いため、一般的に頸部リンパ節への予防照射を含めた照射野が設定される。上咽頭癌では二次元、三次元の通常照射法と比較して強度変調放射線治療（IMRT）の優越性が複数報告されており、照射野周囲の危険臓器への線量低減が可能である。しかし、前頸部の危険臓器の1つである甲状腺は、照射野に含めるべき予防的リンパ節領域と近接しているため、一定量の放射線が甲状腺に照射される。放射線治療に伴う甲状腺の有害事象として甲状腺機能低下症が知られているが、その発症機序は未だ解明されておらず、照射線量と甲状腺機能低下症発症の関連性も不明瞭である。本研究では、甲状腺への照射線量と甲状腺機能低下症の関連性、照射後の甲状腺の体積変化、甲状腺機能低下症発症の危険因子の探求を目的とする。

2011年4月～2019年3月に、東北大学病院、宮城県立がんセンターにおいて、上咽頭癌に対してIMRTを用いた同時併用化学放射線療法を受けた患者のうち、予定された放射線治療を完遂し、治療前後に少なくとも1回以上、甲状腺機能を測定された患者を対象とする。血液検査結果から甲状腺機能低下症の発症を調査し、放射線治療計画装置を用いて甲状腺への照射線量や体積変化を後方視的に調査する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

東北大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学分野 神宮 啓一
東北大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学分野 尾股 聡

宮城県立がんセンター放射線治療科 久保園 正樹

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 寺島 貴之
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 974)

研究責任者：

宮城県立がんセンター放射線治療科 久保園 正樹
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 7708)

研究代表者：

東北大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学分野 神宮 啓一
〒 980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1
TEL 022-717-7312 FAX 022-717-7316
E-mail kjingu-jr@rad.med.tohoku.ac.jp